



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 7月号
令和元年6月28日発行

<http://mikasa.maizuru.ed.jp/>



リーダーシップとフォロワーシップで学校を元気に

令和初年の今年、近畿地方は観測史上最も遅い梅雨入りとなりました。学校では、6月中旬より水泳の授業が始まり、プールからは、連日子どもたちの明るい声が響いています。あさがお、きゅうり、ゴーヤ、かぼちゃなど、各学級で育てている作物に毎日水やりをしながら、子どもたちはぐんぐん大きくなっていく様子を楽しんでいます。

学校では、様々な学習や活動をしています。その中の一つに「児童会活動」があります。教科の学習ではない「特別活動」という分野の教育活動です。特別活動の目標は、「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、ねらいとする資質・能力を育成すること」にあります。6月の取組の中で、きらりと光る三笠っ子の姿を見つけました。

一つ目は、「なかよし班掃除」の取組です。普段は各学級ごとに掃除場所を分担していますが、なかよし班掃除の期間は1年生から6年生までのなかよし班に分かれて掃除をしました。5年生・6年生は、各掃除場所のリーダーとして、下級生に掃除の仕方を教えたり、黙々と取り組む姿を見せたりしていました。自分がリーダーなんだという意識を一人一人が持つことで生まれた姿であったと思います。欠席等の事情で、日によっては人数が少なくなった班もありましたが、「この状況でどうすれば時間内に掃除が終わるのか」と考え、工夫して掃除をしていました。



二つ目は、「全校ダンス」です。5・6年生の健康・体育委員会が企画し、各学級に教えに出向き、全校で踊る、三笠小学校の特色ある取組です。今年度は、中学年を中心に元気な掛け声が響き、雰囲気盛り上げています。その掛け声は、他学年にも広がっていききました。中学年は、「高学年が企画してくれる児童会の取組には全力で参加しよう。一番元気に楽しんで盛り上げるのが自分たち中学年の役目だ。」という意識を持って参加したということです。

二つの姿に共通するのは、児童会活動を「他人事」ではなく「自分事」として考えているということでしょう。「自分たちの学校を、みんなが楽しく元気に過ごせるようにしていくのは自分たちだ」ということを、一人一人が意識していることです。そしてこのことは、先に挙げた目標の「集団や社会の形成者としての見方・考え方」につながるものであると思います。

一学期も残り3週間。7月3日（水）には、9時30分より体育館で音楽集会と救急法講習会を開催いたします。音楽集会に向けて、どの学年も楽しみながら練習を重ねてきました。保護者の皆様、地域の皆様、ぜひお越しいただき、子どもたちの輝く姿をご覧ください。本格的な夏がやってきます。皆様におかれましても、くれぐれも健康に留意してお過ごしください。

校長 小島 みどり